

# 令和6年度 自己評価報告書

令和7年3月  
岐阜県立下呂看護専門学校

## 1 本校の基本理念

本校は、生命の尊厳と人間愛を基盤として、対象を思いやる豊かな人間性を育み、専門知識・技術を教授し、社会のニーズに応え得る能力を養い、安全で安心な医療を担う、専門職業人を育成します。

## 2 令和6年度組織（所属）目標及び実績

### 1) 在校生の学修継続支援の充実

- ①担任・副担任による個別面談（定期・適時）と情報の共有
- ②担当教員制による国家試験の学習支援（3年生18人を教員8人で担当）
- ③スクールカウンセラーの活用促進  
（入学式紹介、スクールカウンセラーの日、臨時、研修会等）
- ④「スクールカウンセラーの日」利用の学生及び保護者4人、延べ13人利用／年
- ⑤学生意見箱の意見対応：4件
- ⑥お悩み相談箱（男子・女子更衣室）の意見：1件
- ⑦ストレスチェック：5月、10月、1月
- ⑧卒業生と語る会：10月
- ⑨学生生活実態調査：9月、2月
- ⑩睡眠時間調査：通年
- ⑪授業参観：一人2回（100%）、授業研究2題、教員ペア制の実施（肯定的意見87.5%）

### 2) 入学生確保対策の充実による入学生数の確保

- ①岐阜県内高等学校訪問36校（5日間）
- ②オープンキャンパス：8月3日（土）47人参加  
・下呂市職員による下呂市の説明及び下呂温泉病院職員による病院見学を導入
- ③進学ガイダンス参加：16回
- ④出前授業：下呂市内小学校1校
- ⑤多職種合同による中学校訪問：下呂市内中学校2校
- ⑥地域行事への参加：地域座談会、NPO法人主催「SDGs～すべての人に健康と福祉を」参加
- ⑦ホームページ適時更新

### 3) 職場研修の実施とワークライフバランスの推進

- ①職場研修8回／年
- ②年次休暇（目標13日以上）の取得  
・年次休暇 一人平均13日（目標到達度100%）  
・夏季休暇 全員4日取得（目標到達度100%）
- ③時間外勤務時間対前年度比20%削減（月平均15時間以内／人）  
・時間外命令時間47%減（月平均9:23／人）

### 3 評価項目の達成および取組状況

#### 1) 学校経営

資料 1～11

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のビジョンと組織目標を策定し、その目標が教職員に理解されているか。</li> <li>・組織目標に対する評価を実施し、結果を教職員に周知し次年度の目標につなげているか。</li> <li>・学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知し外部にも公表しているか。評価結果をもとに改善計画を策定しているか。</li> <li>・管理職のリーダーシップのもと、係長が部署をまとめ、問題解決に当たっているか。</li> </ul>	4.6

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・組織目標を設定し、教職員と共有し取り組んだ。
- ・組織目標の中間評価と年度末評価を行い、目標達成に向けた取り組みを実行した。
- ・学校運営上の課題に対して、職員会議等において教職員と情報共有し、課題の解決に努めた。
- ・学校運営評価（10月・3月）を実施し、職員会議で共有後、ホームページに掲載した。

#### 【課題及び対策】

- ・前年度の組織目標の達成度をもとに組織目標を策定し、教職員で共有し取り組みを行う。
- ・学校運営上の様々な課題について、課題解決に向け迅速に対応する。

#### 2) 学科運営

資料 12～17

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時に持つべき資質をディプロマポリシー、教育目標に明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか。</li> <li>・学習内容は教育理念・教育目標と一貫性があり時代の要請に応える内容になっているか。</li> <li>・授業計画（シラバス）が作成され教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしているか。</li> <li>・効果的な授業運営を図るため適切に時間割を調整しているか。</li> <li>・授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか。</li> <li>・学生の単位取得に向けた支援を実施しているか。</li> <li>・実習目標が達成されるよう実習環境が整備されているか。</li> <li>・実習指導者と教員（実習指導教員）の役割を明確にし、互いに協力し実習指導にあたる体制があるか。</li> <li>・学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、評価について公平性・妥当性が保たれているか。</li> <li>・実習時の患者への倫理的配慮を励行しているか。</li> <li>・実習時のインシデント、アクシデント等を分析し学生指導に活かしているか。</li> <li>・学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めているか。</li> </ul>	4.2

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・年間をとおいし、カリキュラム委員会、実習委員会を中心に、教育内容や教育方法の検討を行った。
- ・卒業時アンケート、卒業生アンケートを参考にカリキュラム評価を実施し、次年度の教育に反映した。
- ・卒業時の技術経験到達度を評価し、経験の少ない技術項目の卒業前技術演習を実施した（国家試験終了後）。実施時期の検討が課題にあがった。
- ・学生への時間割の公表は概ね1カ月前に行った。
- ・未修得科目のある学生の単位修得に向け、外部講師や実習施設との調整を行った。
- ・教育課程や看護学実習要綱を用いて、科目のねらい、学習方法、評価基準などについて、学生に繰り返し説明した。
- ・実習施設への協力依頼を行い、指導体制及び実習環境を整備した。
- ・主たる実習施設の学生指導委員会に教員が参加し（4回/年）、実習指導者と課題等の検討を行った。
- ・学生の実習における学習内容を担保したうえで、実習の事前学習方法と実習記録の削減を行った。
- ・実習時の「ヒヤリハット振り返りシート」の入力方法をLoGoフォームに変更したことで、記載時間や手間が省け、タイムリーな報告と対策の検討につながった。
- ・学生による授業評価の方法を見直した結果、回答率が上昇した。

**【課題及び対策】**

- ・科目評価や卒業生評価を参考に、教育カリキュラム全体の評価を行う。
- ・卒業前技術演習の有効性と実施時期について検討する。

3) 入学・卒業対策

資料 18～19

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの応募者を確保することに努めているか。</li> <li>・国試の合格者が100%となるよう教職員一丸となって取り組んでいるか。</li> <li>・質の高い卒業生を多く輩出する為の努力を行っているか。</li> <li>・卒業生への支援を行っているか。</li> <li>・卒業生の県内就職率を高めるように努めているか。</li> </ul>	4.1

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・教職員でアイデアを出し合いながら学生確保に向けた取り組みができた。
- ・オープンキャンパスは休日開催とし、下呂市や下呂温泉病院との連携を新たに取り入れた。
- ・地域や小中学校へのPR活動を行った。
- ・前年度より志願者は増加（R5:17人→R6:22人）したが、定員（30人）には至らなかった。
- ・教員全員で国家試験対策を実施した結果、国家試験合格率は94.7%だった。

\*全国の国家試験合格率90.1%

- ・3月に卒業生交流会を実施し、14人の卒業生が参加し交流した。
- ・県内就職を推奨し、県内就職率は81.2%だった。
- ・年度内の退学者、休学者はいなかった。

**【課題及び対策】**

- ・志願者増を目指し、学生確保について組織的な取り組みを継続する。
- ・国家試験の全員合格に向け、1年次からの学習支援を行う。

## 4) 学生生活への支援

資料 20～24

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職などの進路に関して学生の相談に十分応じているか。</li> <li>・経済的、精神的側面からの学業継続支援体制が整い、効果的に活用しているか。</li> <li>・学生の身体的側面の健康確保に努めているか。</li> <li>・サークル活動などの学生の自主的な活動を支援しているか。</li> </ul>	3.7

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・学生面談後に教職員で面談内容や記録の共有を行うことで、支援体制の強化につながった。
- ・学生の同意のもと保護者との情報共有を行い、学生支援の協力を依頼した。
- ・就職支援の充実を図るため、2・3年生に就職支援アンケートを実施し、就職、進学について助言した。
- ・2年生対象に外部講師による就職支援ガイダンスを実施した結果、学生が主体的に自身の進路について考える様子があった。
- ・「卒業生と語る会」に卒業生10名を招き、1・2年生と交流した。
- ・学生生活実態調査（学生生活全般、ハラスメント、睡眠）を実施し、学生の生活状況を把握した。
- ・年間をとおし授業料減免・奨学金制度の情報提供や手続きの説明等を行い、学生の経済的支援に努めた。
- ・LoGo フォームの健康チェック項目に睡眠時間を加え、日々の睡眠時間調査を把握し、必要時教員間で共有し支援した。
- ・学校医及びスクールカウンセラーと連携し、学生の健康面の支援を行った。
- ・学生が相談しやすくなるよう、入学式においてスクールカウンセラーを紹介した。
- ・「スクールカウンセラーの日」はスクールカウンセラーが学内に待機し、13人／年に対応した。
- ・スクールカウンセラーによる学生のストレスチェック（3回／年）を実施した。
- ・3学年の縦割りグループによる交流活動を行った。

## 【課題及び対策】

- ・学生個別面談や各種アンケート調査結果を教職員で共有し、効果的な学生支援につなげる。
- ・専門的な助言が必要な場合は学校医、スクールカウンセラーとの連携を行う。

## 5) 教職員の育成

資料 25～27

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の抱えている課題をふまえた職場内研修を行っているか。</li> <li>・学会又は研修等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか。</li> <li>・教員が計画的に臨床実務研修に参加できるよう支援しているか。</li> <li>・教員の授業を他の教員が参観、講評できる体制を整えているか。</li> <li>・教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えているか。</li> </ul>	3.8

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・職場研修（8回）、伝達講習会（10回）を実施した。
- ・授業参観と授業研究が計画どおり行えた。

- ・教員ペア制に対する教員の肯定的意見は87.5%と上昇した。教員ペア制をきっかけに教員間でサポートしあう体制が確立してきた。
- ・教員の臨床研修は実施できなかった。

【課題及び対策】

- ・教員の研修参加、伝達講習会、授業参観や授業研究をとおり、教員の教育力の向上を図る。
- ・教員間でサポートしあえる体制を強化し、教員の同僚性を高める。

6) 管理運営・財政

資料 28～29

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算計画、年間行事計画を策定し適正な予算の執行・進行管理を行っているか。</li> <li>・学生や教職員等の人権・個人情報について十分な対策がなされているか。また、学生、教職員に対しそれらの徹底を図っているか。</li> <li>・災害など非常時の危機管理体制が整備されているか。また、防犯・交通安全意識の向上に努めているか。</li> <li>・学校運営に学生の意見が反映されるように努めているか。</li> </ul>	4.2

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・予算策定、予算執行は計画的に行った。
- ・学生に対して、学生便覧や実習要綱を用いて、人権や個人情報保護に関する説明を繰り返し行った。
- ・職員に対して、サービス・公務員倫理やハラスメント防止などに関する職場研修を実施した。
- ・学生・職員のヒヤリ・ハット事例を共有し、再発防止に取り組んだ。

【課題及び対策】

- ・学生に対して、危機管理に関する研修会（防犯・防災・薬物乱用防止）を行う。
- ・職員に対して、定期的な職場研修を行う。

7) 施設設備

資料 30～32

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の安心・安全が確保されているとともに障がい者の利用に配慮された構造になっているか。</li> <li>・教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか。また、学生の自主的な学習の場が確保されているか。</li> <li>・学生のための福利厚生施設・設備は整っているか。</li> <li>・図書室は利用しやすく学生に十分活用されているか。</li> <li>・実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品設備が整い十分にその機能を果たしているか。</li> </ul>	3.6

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・昨年度整備した学生フリールームを活用する学生が増えた。
- ・学校内照明のLED化工事が進んだ。
- ・学生の図書室利用の機会を増やすため、朝開錠し夕に施錠するよう変更した結果、来館者が増えた。開館時間の延長による紛失本の増加はなかった。

- ・女子更衣室に個人用のロッカーがないため、所持品や服の管理ができない。
- ・ICT機器（タブレットパソコン）の不具合が多く、学生から改善を求める声があがった。

**【課題及び対策】**

- ・女子更衣室のロッカー整備について検討する。
- ICT機器（タブレットパソコン）の修繕又は購入に向けた計画的な整備を行う。

8) 広報・社会貢献・地域活動

資料 33

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の存在を周知するためホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしているか。</li> <li>・地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか。</li> </ul>	3.9

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・ホームページの更新を適宜行った。
- ・地元ケーブルテレビの撮影に協力し、学生や学校の存在をアピールした。
- ・地域や小中学校に出向き、学校のアピールを行った。
- ・実習施設に学生ボランティアの案内を行い、申請のあった施設に対しボランティア活動を行った。
- ・卒業記念事業として、卒業前の3年生が下呂駅・バス停・実習施設の清掃活動を行った。
- ・学生数の減少や地元学生の減少により、ボランティア活動の回数や範囲に限界がある。

**【課題及び対策】**

- ・学生の現状に合わせ、可能な範囲で地域におけるボランティア活動を行う。

9) 独自項目（寄宿舍）

資料 34

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舍の施設・設備は安全・安心が確保され、学業に専念できる生活環境であるか。</li> </ul>	3.9

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分 1

- ・寮生は合計23名（1年生5名、2年生6名、3年生12名）であり、昨年度より12名減少した。
- ・7月に寄宿舍の防災訓練を実施した。
- ・1月に寄宿舍入寮生調査を実施した。冬季休業明けから暖房の使用時間を24時間に変更したことにより、「満足・やや満足」の回答が増加した。
- ・入寮生の減少に伴い、寄宿舍3階を閉鎖したことにより、生活や管理の範囲が集約され、暮らしやすい環境になった。
- ・入寮生の減少により、従来の様々なルール等の見直しが必要になっている。
- ・寄宿舍におけるWi-Fiネットワーク整備に関する意識調査を実施した。

**【課題及び対策】**

- ・寄宿舍の現状に合わせた運営方法について検討する。
- ・長期的な視点で寄宿舍Wi-Fiネットワーク整備について検討する。